

<大阪メンズアパレル工業組合>

情報ネットワークシステム開発事業

－インターネットを活用したeラーニングの教育カリキュラムの開発。－

〈組合概要〉

- 所在地 大阪市中央区谷町 2-4-5
- 電話 06-6942-1951
- 設立 昭和 34 年 10 月 13 日
- 業種 紳士服製造業
- 組合員数 25（平成 30 年 3 月 31 日現在）
- URL <http://www.mensmuseum.com>

取組期間

平成 26 年 6 月 12 日～平成 27 年 3 月 31 日

取組みの背景・きっかけ

国内産業の空洞化、ものづくりの国外化・委託化、技術者の高齢化の傾向が顕著であり、近年は組合員数の減少に伴い、紳士服業界の活性化という本来の目的に即した事業を中々行えない環境下にある。インターネットを活用し、過去から蓄積してきた組合資源を現代の学習ニーズに合ったeラーニングによるデジタル化を図り、企業からの人材支援ニーズに対応する。

取組みの内容

組合員の従来の従業員教育は、新入社員教育の一般的教育であり、紳士服専門分野における従業員教育は未実施もしくは社内でのOJTが大半であるのと同時に、職場を離れ集合訓練において技能を習得させていたが、eラーニングによるインターネットを活用することにより職場に負担をかけることなく技能の習得が出来る。教材の開発は、組合が過去から築いてきた技術者集団（大阪紳士服デザイナークラブ）の協力のもと、インターネットで情報を開示するにあたり、業界専門用語を図の挿入により理解しやすい状態にした。また、音声を入れるという事で、目、耳の両方から学習することで学習能力の向上につとめた。学習している本人の理解度を確認できるようにテスト問題を挿入、企業単位で受講する場合、本人の進捗状況を上司が確認できるようなシステムにした。

実施成果（平成 27 年 3 月 31 日現在）

システムの開発に当たっては、業界で行っている一般的な技術・方法については、理解を求めることが出来た。高齢化してきている技術者の紳士服作りの伝統技能を次世代に展開でき、職務時間内に集合訓練に参加させていたのを、インターネットの活用により身近に教育訓練ができ従業員の技能の向上に繋がるとともに、今後のシステム開発の基礎となった。インターネットで情報を開示することにより、全国レベルでの当業界の紳士服技術に対する認知度の向上にも繋がり、新規加入企業の従業員の技能向上により、組合員の増加と業界全体が活性化され発展する。